

//// 第61回 高等学校卒業式 2018年2月3日(土)大講堂 ////

< 学校長式辞 >

洛星高等学校長 阿南 孝也

61期生の皆さん、卒業おめでとうございます。

洛星から新しい世界へ巣立ってゆく皆さんに、「流され妥協することなく、高い理想を持って、より良い世界構築のために働く人であってください」という言葉を贈ります。皆さんが進む世界は、決して完成された、愛に満ちた世界ではありません。保護主義の台頭、北朝鮮や中東情勢、難民問題、地球環境の保全など、解決が困難な多くの課題を抱えた世界です。世界各地で起きているテロや紛争に対して、「止めようがない」「仕方がない」と諦める、あるいは無関心でいるとすれば、暴力の連鎖を容認し、服従させられていることになるのではないでしょうか。「悪に負けてはいけません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちなさい」という聖パウロの言葉（ローマの信徒への手紙12章21節）を生きる人であってほしい、そう願っています。

世界中のカトリック教会のリーダー教皇フランシスコは、新たに回勅（「ラウダート・シ」2015年）を発表されました。回勅とは、教皇が世界中のカトリック教会に宛てて送る重要度の高い書簡です。回勅の中で、教皇は「私たち皆の共通の家であり、命を分かち合う姉妹である地球を大切にしましょう」と呼び掛けられました。さらに、私たちの身体そのものが地球の要素から構成されていると述べて、呼吸を与えてくれる空気、私たちを生かし憩わせてくれている水の大切さに触れておられます。

ところが、「今、この地球は蹂躪され嘆き苦しんでいます」と教皇は警告されます。大気汚染や水不足は命の源を奪うことになるからです。「地球のうめき声は、この世界のすべてのうち捨てられた人々の嘆きに重なるのです」と述べて、この嘆き声に耳を傾けるよう招いておられるのです。一見魅力的に思えるものが次々と現れては消えていく、移ろいやすい時代にあって、決して変わることはないキリストの教えを学んだ卒業生の皆さん、利便さや大量消費という風潮に流されることなく、環境や自然保護に関心を寄せて、この星に住むすべての人々の命が大切に守られる社会実現のために努力する人となってください。

「平和」の実現こそ、地球環境保全に欠かせない最重要課題であり、未来を担う、卒業生の皆さんに与えられた使命であると確信しています。平和の種は、一人ひとりの心の中に播かれ芽生えるものです。しかし、世界中から戦争やテロをなくし、平和な世界を築くためには、個人レベルでの心の持ちように目を向けるだけでは不十分です。紛争の多くは、根底に富の不平等や資源エネルギーの奪い合いが存在し、貧富の差はさらに拡大しているからです。平和の実りを得るためには、実に様々な分野での、粘り強い取り組みが必要です。洛星を巣立っていく皆さん、世界の出来事に関心を持ち、人の痛みに気づく心を育み、弱い立場に立たされた人の隣人となってください。人類の家である地球の傷を癒し、この星に住む人すべてが、安心して平和に暮らすことのできる世界構築のために貢献する人となってください。

教皇フランシスコは「自分自身の殻に閉じこもることなく外へ出向きなさい。そして熱意と活力を持って弱い立場にある人、苦しむ人に福音を伝えなさい」と、若者に向けて希望と励ましの言葉を述べられました。さらに、「出て行ったことで事故に遭い、傷を負い、汚れた

教会のほうが、閉じこもり、自分の安全地帯にしがみつくと、気楽さゆえに病んだ教会よりも好きである」とまで、明言されました。卒業生の皆さん、失敗を恐れず、たとえ泥をかぶり傷つくことがあったとしても、人々の幸せ実現のために働く、強い意志を持った人であってください。流され妥協する生き方に甘んずることなく、真実を貫くために戦う人、高い理想を持って、より良い世界構築のために働く人であってください

卒業生の皆さんは、洛星を巣立ち、さらに高度な学問の府での学びを心待ちにしていることでしょう。在学中、私は皆さんに「学ぶ楽しさを知る人になってください」と話してきました。洛星を巣立つ皆さんが、新たな学び舎で、幅広い教養と深い専門性を身につけ、「真理を探究する人」となって世界へ羽ばたいてくれることを願っています。

卒業式は別れの式です。しかし同時に、卒業生の皆さんを、洛星から世界中に派遣する日であると考えています。洛星の卒業生は文字通り世界中で働いています。同じここ洛星でキリストの教えを学んだ仲間です。あなた方を待っている人がたくさんいます。卒業生の皆さん、失敗を恐れず難題に立ち向かい、人々の幸せ実現のために必要とされている場で活躍してください。

最後に、卒業生の皆さんへ、これからのあなた方一人ひとりの人生の上に、神が、恵みと祝福を豊かに与えてくださいますようお願いして、お祝いの言葉といたします。卒業、おめでとう！